紫嶋山慈恩寺

中仙町長野字六日町

紫嶋山慈恩寺は紫嶋城全盛時代以前から続いた寺で、慈恩寺という寺の名も秋田氏から賜ったと伝えられている。ここには聖観音、勢至観音、千手観音がまつられていて、古くから深い信仰を集めていた。今は六日町稲荷神社として栄えているが、菅江真澄も「六日町東裡稲荷神社　此の社は角館内街篠崎長右エ門境内より遷し給う稲荷神社なり。さりけれど慈恩寺の修験宗別当たり、社は彼の寺の庭の内に祭る」と記している。